

## Ⅲ その他

### 【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 4,578 人のうち、1,582 人の方から自由意見が寄せられました。

#### ▶ みえ県民 1 万人アンケートに関する御意見

今後もしできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などに努めてまいります。

なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

#### ① 目的や活用に関すること

- ・ このアンケートが目で見える形で実現できることを望む。
- ・ アンケートから様々なことを考える機会となった。
- ・ 県民一人一人が「みえ元気プラン」に少しでも参加しようというモチベーションに繋がる取組を期待します。
- ・ アンケートではなく、直接的に県に意見が伝わる様々な窓口を増やすべき。
- ・ アンケート調査の結果で何か変わるのか疑問です。県民がより生活しやすい街になってほしいです。
- ・ このようなアンケートで県民の情報を得ることは大事だと思う。
- ・ アンケート調査結果から、県民の意見や要望が反映されればとても良いと思う。県民の意見や要望を調査する意義は大きいと思う。

#### ② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ アンケートの設問が大まかすぎて、言いたいことが表現できない。
- ・ 答えにくいところがあった。
- ・ 介護についてもアンケートに入れてほしい。
- ・ 年齢的に回答しづらい点があった。
- ・ アンケートの回答を、子育て世代と既に子育てや仕事が終わっている世代と分けて回答できるようにした方が良いと思う。
- ・ アンケートの質問の答えは 3 つまでとありますが、しぼるのに困った点があった。
- ・ アンケートが長いと思いました。
- ・ みえ元気プランについて、知る機会が少なく、どのような取組が行われているのかがわかりづらいと感じました。アンケートの裏面に紹介動画の URL、二次元コードがあると良いと思います。

#### ③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ 早期に公表してほしい。
- ・ アンケートに回答する際に、何か報酬があれば嬉しい。

## (参考) 標本誤差と調査の精度

母集団の一部を標本として抽出し、その回答からもとの母集団全体について推定する標本調査では、“真の値”（全数調査を行えば把握できるであろう値）との差が発生することが避けられません。この“標本誤差”は、次のような手順で見積もることができます。

まず、今回のように大きな母集団から標本を無作為抽出する調査では、ある選択肢が選ばれた比率（回答比率） $p$ の“標準誤差”（回答比率の標準偏差）が次のように求められます。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{p(100-p)}{n}} \quad n : \text{回答者数 (人)} \quad p : \text{回答比率 (\%)}$$

標本誤差はこの標準誤差と、結果に求める“信頼度”から見積もります。例えば、信頼度を、最も広く使われる95%（間違える確率が5%）とすると、標本誤差は次の式のように求めることになります。

$$\text{標本誤差} = 2 \times \text{標準誤差}$$

ここで、右辺第1項の2（厳密には1.96）は、想定する信頼度によって統計学的に決まる値です。回答比率プラスマイナス標本誤差の範囲が信頼区間と呼ばれるもので、信頼度95%の場合、真の値（母集団における比率）が95%の確率で、次の範囲におさまると考えることができます。これが、標本調査の精度です。

$$\text{回答比率} - \text{標本誤差} \sim \text{回答比率} + \text{標本誤差}$$

今回の調査では、10,000人の標本から4,578人の有効回答が得られました。回答者全員を対象とする集計結果の標本誤差を、上の式から具体的に計算すると、例えば回答比率が50%の場合は、1.5%、同20%では1.2%となります。このことから、三重県民（18歳以上）全体の意識を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。

次表は、いくつかの $n$ （回答者数）と $p$ （回答比率）の組み合わせについて、信頼度95%の標本誤差を計算した早見表です。

標本誤差の早見表

回答者数(n) \ 回答比率(p)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

なお、標本誤差の計算は、特定の属性区分（例えば性別が女性など）の回答者 $n$ 人とその回答比率 $p$ という組み合わせについても同様です。上の表は、そのような標本誤差の早見表としてもご覧ください。

## 第2回 みえ県民1万人アンケート 調査票

所要時間は15分程度です。ご回答はこの調査票か、専用ウェブサイトのいずれかからお願いします。それぞれの回答方法は、下記を参照ください。

回答締切日：令和6年1月9日（火）

### 調査票でご回答いただく場合

- 回答は順番に、番号に○をつけるか、回答欄に数字等を記入してください。
- ご記入は、ボールペン又は鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- 記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、郵便ポストに投かんしてください。
- アンケートは、次ページの問1からご回答ください。

### 専用ウェブサイトでご回答いただく場合

- パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも可能です。
- インターネットでご回答いただいた方は調査票の返送は不要です。

- ① URL を直接ご入力、またはQRコードからアクセスしてください。

**<https://www.c-pass.jp/mie>**



- ② ログイン画面が表示されましたら、以下に記載のIDを入力してください。

あなたのID： ○○○○○○ ※ 0 は数字のゼロです

パスワード： **abc123**

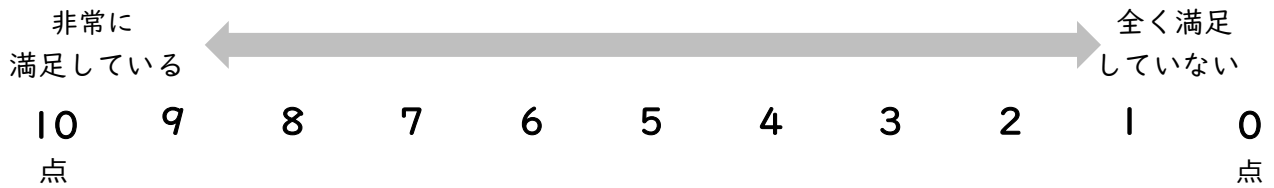
IDは調査票からの回答とウェブサイトからの回答の重複を防ぐものであり、回答者様個人を特定するものではありません。

- ③ アンケート画面が表示されますので、ご回答ください。

はじめに、生活の満足度についておききします

**問1** あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（数字を1つだけ○）



**問2** 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 どちらか いえば満足	3 ふつう	2 どちらか いえば不満	1 不満	0 あてはまらない・ わからない
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

次に、県が注力している取組に関することについておききします

【災害への備えについて】

問3 あなたは、自然災害が起こったときに、被害を少なくするために「自助」、「共助」、「公助」\*のどれに重点をおくべきと考えていますか。  
(○は1つだけ)

- 1 「自助」に重点を置くべき
- 2 「共助」に重点を置くべき
- 3 「公助」に重点を置くべき
- 4 「自助」「共助」「公助」のバランスを取るべき

\*「自助」・・・自分の身は自分で守ること  
「共助」・・・地域や身近にいる人どうしが助け合うこと  
「公助」・・・国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

問4 あなたは、「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思えますか。  
次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

- 1 津波避難タワーなどの避難場所・避難路などの整備
- 2 道路、橋、堤防などインフラの整備・耐震化
- 3 備蓄物資、資機材などの整備
- 4 避難所の確保・整備
- 5 救助・救急
- 6 災害に関する情報発信
- 7 被災者生活再建支援
- 8 その他 ( )

問5 大規模な災害が発生したときは、避難所での生活が必要となる場合があります(場合によっては長期間)。あなたは、避難所での生活においてどのようなことを求めますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。  
(○は3つまで)

- 1 冷暖房の整備
- 2 トイレの整備(バリアフリー化、十分な数)
- 3 寝具の確保(快適性)
- 4 プライバシーの保護
- 5 防犯警備
- 6 食料や飲料水の確保
- 7 電源の確保
- 8 風呂の確保
- 9 洗濯環境の確保
- 10 その他 ( )

【結婚について】

問6 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。 (○は1つだけ)

- |   |                         |         |
|---|-------------------------|---------|
| 1 | 未婚 (結婚したことはない)          | ⇒ 問6-2へ |
| 2 | 既婚・死別 (結婚したことはあるが、死別した) | ⇒ 問7へ   |
| 3 | 既婚・離別 (結婚したことはあるが、離別した) | ⇒ 問7へ   |
| 4 | 既婚・配偶者あり (現在、夫または妻がいる)  | ⇒ 問7へ   |

問6-2 これまでに結婚したことがない方 (問6で「1」を選んだ方) におききます。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (○は1つだけ)

- |   |            |
|---|------------|
| 1 | いずれ結婚するつもり |
| 2 | 結婚するつもりはない |

【男女共同参画について】

問7 あなたは、家庭生活において男女の地位は平等になっていると思いますか。一人暮らしの方はご実家などご自身の経験をふまえてお答えください。 (○は1つだけ)

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | 男性の方が非常に優遇されている      |
| 2 | どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3 | 平等                   |
| 4 | どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5 | 女性の方が非常に優遇されている      |

問8 あなたは、家庭生活 (問7) 以外でどのような分野で男女の地位は平等になっていないと思いますか。 (○はいくつでも)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 職場内の環境                      |
| 2 | 学校教育の場                      |
| 3 | 政治の場                        |
| 4 | 法律や制度の上                     |
| 5 | 雇用の機会                       |
| 6 | 社会通念・慣習・しきたりなど              |
| 7 | 自治会やPTAなどの地域活動の場            |
| 8 | その他 ( )                     |
| 9 | 男女平等でない分野はない (どの分野も男女平等である) |

【子ども・子育て支援について】

**問 9** あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は( )に人数も記入してください)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | ( ) 人くらいほしい (ほしかった) |
| 2 | ほしくない (ほしくなかった)     |
| 3 | わからない               |

**問 10** お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は( )に人数も記入してください)

- |   |              |            |
|---|--------------|------------|
| 1 | 子どもが ( ) 人いる | ⇒ 問 10-2 へ |
| 2 | 子どもはいない      | ⇒ 問 11 へ   |

**問 10-2** お子さんがある方 (問 10 で「1」を選んだ方) におききします。

現在、ご家庭に次の方はいますか。(○はいくつでも)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 未就学児 (小学生未満)          |
| 2 | 小学生・中学生               |
| 3 | 高校生                   |
| 4 | 大学生 (短大、高専、専門学校なども含む) |
| 5 | 1 から 4 に該当する子どもはいない   |

**問 11** あなたは、今後、男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 男性が家事や育児に参画することの抵抗感をなくすこと                                  |
| 2 | 育児休業取得時に、収入が減ってしまわないこと                                     |
| 3 | 育児休業取得時におけるキャリアの保証や、復帰の際の支援が充実していること                       |
| 4 | 仕事内容や労働時間の調整など、職場における上司や周囲の理解を進めること                        |
| 5 | 職場において、テレワークやフレックスタイムなど多様な働き方を普及し、仕事時間の削減や柔軟な調整ができるようになること |
| 6 | 男性が家事・育児について、スキルを向上するための学ぶ場や交流できる育児支援グループやネットワークなどがあること    |
| 7 | その他 ( )  |

**問 12** あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。  
(○は3つまで)

- 1 休暇を取得しやすい雰囲気
- 2 育休や時短中の収入の確保
- 3 育休や時短を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当支給
- 4 テレワークなどの柔軟な働き方
- 5 転勤・単身赴任などの制度の見直し
- 6 育休や時短取得者のキャリア・昇進への配慮
- 7 休日出勤や長時間労働の是正
- 8 その他 ( )

**問 13** あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。  
(○は1つだけ)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない
- 5 わからない

**問 14** あなたは、「ヤングケアラー\*」について知っていましたか。(○は1つだけ)

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉はきいたことはあるが、意味はよく知らなかった
- 3 言葉も意味も知らなかった

\*本来であれば大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを「ヤングケアラー」といいます。

**問 15** あなたは、「フリースクール\*」について知っていましたか。(○は1つだけ)

- 1 県内での実際の活動を知っていた
- 2 県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた
- 3 言葉はきいたことはあるが、どのようなものかはよく知らなかった
- 4 言葉もどのようなものかも知らなかった

\*一般に、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設をいいます。



【人口減少対策について】

問 16 あなたは、子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。  
(○は3つまで)

- 1 こども医療費の無償化
- 2 幼稚園・保育所の無償化
- 3 保育施設の整備・拡充
- 4 学童保育の整備・拡充
- 5 中学校までの給食無償化
- 6 民間賃貸住宅の家賃補助
- 7 子育て世帯に対し、公営住宅入居の所得制限緩和・撤廃
- 8 子育て関連の現金給付
- 9 その他 ( )

【定住意向について】

問 17 あなたは、三重県に今後も住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 住みたいと思う
- 2 どちらかといえば住みたいと思う
- 3 どちらかといえば住みたいと思わない
- 4 住みたいと思わない
- 5 わからない

問 18 問 17 で、そう答えた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

- 1 自然や、気候、風土
- 2 道路状況や交通の便
- 3 人間関係
- 4 子どもの保育・教育の環境
- 5 職場環境
- 6 通勤
- 7 仕事の都合
- 8 保健医療分野のサービスや施設
- 9 レジャー施設や商業施設、飲食店
- 10 その他 ( )

【公共交通について】

問 19 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	3 あり、実際に利用 することがある	2 あるが、ほぼ利用 していない	1 ない 利用できる環境に
①鉄道	3	2	1
②バス	3	2	1

問 20 あなたは、ご自宅から鉄道やバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じますか。(○はそれぞれいくつでも)

①鉄道	②バス
1 駅やバス停までの距離が遠い	1 駅やバス停までの距離が遠い
2 駅やバス停まで行くための手段がない	2 駅やバス停まで行くための手段がない
3 鉄道やバスを使うと交通費が高い	3 鉄道やバスを使うと交通費が高い
4 鉄道やバスを使うと時間が掛かる	4 鉄道やバスを使うと時間が掛かる
5 鉄道やバスの本数が少なく不便	5 鉄道やバスの本数が少なく不便
6 目的地までの乗り換えが不便	6 目的地までの乗り換えが不便
7 行きの時間が合わない	7 行きの時間が合わない
8 帰りの時間が合わない	8 帰りの時間が合わない
9 始発が遅すぎる	9 始発が遅すぎる
10 終発が早すぎる	10 終発が早すぎる
11 とくに不便は感じない	11 とくに不便は感じない
12 その他	12 その他
( )	( )

【観光について】

問 21 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。  
(○は3つまで)

- 1 イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上
- 2 経済活性化や働く場の増加
- 3 施設や道路などのインフラ整備
- 4 文化資源や自然資源の保存・継承
- 5 騒音やゴミの増加による生活環境の悪化
- 6 道路の渋滞、バスやタクシーの混雑
- 7 自然や景観が損なわれる
- 8 観光地化による物価上昇
- 9 とくに効果や影響はない
- 10 その他 ( )

【共生社会について】

問 22 あなたは、日本人と国籍の異なる外国人が、互いの文化的差異を認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく共生社会についてどう思いますか。  
(○は1つだけ)

- 1 望ましいと思う
- 2 どちらかといえば望ましいと思う
- 3 どちらかといえば望ましくない
- 4 望ましくない
- 5 わからない

【デジタルの活用について】

問 23 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。  
(○は1つだけ)

- 1 デジタルサービスを利用したことがある ⇒問 24 へ
- 2 行政手続をする機会はあったが、デジタルサービスは利用したことはない ⇒問 23-2 へ
- 3 そもそも行政手続を利用する機会がなかった ⇒問 24 へ
- 4 わからない ⇒問 24 へ

**問 23-2** **問 23 で「2」を選んだ方**におききします。

その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 スマートフォンやパソコンを持っていない
- 2 手続きがデジタル化していることを知らなかった
- 3 必要な手続きがデジタル化していない
- 4 利用方法がわからない、操作が難しい
- 5 対面による手続きがよいと思う
- 6 その他 ( )

**【選挙について】**

**問 24** 県では、国政選挙・地方選挙（県議会議員選挙、知事選挙）時に、県民に向けて、選挙期日の周知や投票を呼び掛ける啓発を行っています。あなたが、これまでに見た・聞いたことがあるものは、どの啓発媒体ですか。(○はいくつでも)

- 1 テレビ CM
- 2 ラジオ CM
- 3 新聞広告
- 4 インターネット、SNS 公告
- 5 ポスターの掲出
- 6 コンビニエンスストアのレジ公告
- 7 大型ショッピングセンターや主要駅、街頭での啓発
- 8 県・市町広報紙での啓発
- 9 県・市町庁舎などでの懸垂幕・横断幕の掲出
- 10 県・市町広報車での巡回啓発
- 11 県選挙管理委員会ホームページでの啓発
- 12 その他 ( )
- 13 見たこと・聞いたことはない

**【国体について】**

**問 25** 国民体育大会\*（以下、国体）については、国等において、大会の充実・活性化を図りながら、持続可能なスポーツ大会を目指して議論が行われています。また、施設整備や開・閉会式など、大会の準備・運営に関わる開催都道府県の人的・財政的負担が増大しており、簡素化などに向けた議論も併せて行われています。今後の国体の開催について、何か意見などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

\*2024 年からは「国民スポーツ大会」へ名称変更

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。ぜひご協力ください。

問 26 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

問 27 あなたは現在、おいくつ(満年齢)ですか。

満  歳

問 28 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- 1 単身世帯(ひとり暮らしなど)
- 2 一世代世帯(夫婦のみなど)
- 3 二世帯世帯(親と子など)
- 4 三世帯世帯(親と子と孫など)
- 5 その他( )

問 29 あなたの主な職業は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 農林水産業(家族従事者も含みます)
- 2 自営業、自由業(家族従事者も含みます)
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生(アルバイトなどをしている方も含みます)
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

問 30 あなたは配偶者の方と共働きをしていますか。(○は1つだけ)

- 1 はい
- 2 いいえ

**問 31** あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。  
（○は1つだけ）

- |    |                 |
|----|-----------------|
| 1  | 100万円未満         |
| 2  | 100万円～200万円未満   |
| 3  | 200万円～300万円未満   |
| 4  | 300万円～400万円未満   |
| 5  | 400万円～500万円未満   |
| 6  | 500万円～600万円未満   |
| 7  | 600万円～800万円未満   |
| 8  | 800万円～1,000万円未満 |
| 9  | 1,000万円以上       |
| 10 | わからない           |

**問 32** あなたのお住まいの地域はどちらですか。  
「1」～「5」の地域に○をつけてください。（○は1つだけ）

- |   |        |  |
|---|--------|--|
| 1 | 北勢地域   | （桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・東員町・菰野町・朝日町・川越町） |
| 2 | 伊賀地域   | （伊賀市・名張市）                                    |
| 3 | 中南勢地域  | （津市・松阪市・多気町・明和町・大台町）                         |
| 4 | 伊勢志摩地域 | （伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町）               |
| 5 | 東紀州地域  | （尾鷲市・熊野市・紀北町・御浜町・紀宝町）                        |

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組\*や、本アンケート調査に対する感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

\*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

**質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。**  
記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和6年1月9日（火）までに郵便ポストに投かんしてください。